

柔軟性と高度なガスバリア性をあわせ持つ新素材

EVOH系樹脂「エパールSP」生産設備の稼動開始について

当社は高いガスバリア性と柔軟性・弾力性を持つ新規 EVOH 系樹脂「エパール SP」を開発し、昨年 12 月より岡山事業所にて生産設備（年産能力 5,000 トン）の建設を進めておりましたが、このほど工事が完了し、本日より稼動を開始しましたのでお知らせいたします。

「エパール SP」は、あらゆるプラスチックの中で最高レベルのガスバリア性（気体を透過させない性質）を持つ EVOH 樹脂「エパール」をベースとし、柔軟性・弾力性、優れた加工性を付与した新素材です。食品の鮮度を保つ各種包装材料をはじめ、工業材料分野にも今までになかった大きな用途が期待されます。

当社は 1972 年、「エパール」の工業化に世界で初めて成功して以来、ケチャップ・マヨネーズボトル、香辛料チューブなどの食品包装材料や、自動車ガソリタンク素材に用途開発を進めてきました。日本だけでなく米国・欧州にも事業拠点を構築し、世界市場の拡大に努め、そのシェアは 70% に達しています。

今月 19 日には欧州の増強設備が稼動を開始し、現在世界 3 拠点での生産能力は年間 57,000 トンに上ります。さらに米国の設備も倍増（+24,000 トン）することをすでに決定しており、2006 年春には年間 81,000 トンの規模となります。

今回生産を開始した「エパール SP」は、「エパール」が持つ高度なガスバリア性を生かしながら、従来には無かった柔軟性・弾力性を持たせることで、以下のような未開拓の食品包装分野への対応が可能です。

- 1) シュリンクフィルム （生肉包装用など）
- 2) 深絞りカップ・トレイ （デザート、飲料用など）
- 3) PET 系バリアボトル （炭酸飲料用など）

「エパール SP」は当社ガスバリア材事業の世界を大きく広げる新素材であり、欧州に続く米国での「エパール」大幅増強を支える戦略素材として位置付けています。

当社岡山事業所は年産 10,000 トンの設備能力を持つ「エパール」生産工場を含め、ポパール樹脂・ピニロン繊維を生産する酢酸ビニル系化学事業の一大拠点であります。同事業の世界戦略を担うマザー工場として、今後も新たな技術・素材を生み出し、世界に発信していきます。

設備の概要

場 所 : 当社 岡山事業所 (岡山市海岸通 1-2-1 事業所長: 坂井 俊英)

生産能力 : 年産 5,000 トン

設備投資額: 約 10 億円

販売構想

想定される世界市場 35,000 トン (2003 年)

(参考) EVOH の世界市場 70,000 トン (2003 年)

販売構想

2005 年度 5,000 トン 売上予想 50 億円

2007 年度 10,000 トン 売上予想 100 億円

<参考> 「エパール」生産設備能力 (トン/年)

| 拠点 | 現 状 | 2006 年春 | 備 考 |
|-----------|--------|---------|--------------------------|
| 日本 (岡山) | 10,000 | 10,000 | |
| 米国 (テキサス) | 23,000 | 47,000 | 2006 年 3 月 + 24,000 増強予定 |
| 欧州 (ベルギー) | 24,000 | 24,000 | 2004 年 10 月 + 12,000 増強 |
| 合 計 | 57,000 | 81,000 | |

以 上

この件についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

(株)クラレ IR・広報室 (東京) 小山・河村 TEL 03-6701-1072

(大阪) 鶴崎 TEL 06-6348-2264